

# アダン

か めい  
科名 タコノキ

べつ めい  
別名 シマタコノキ

がくめい  
学名 Pandanus odoratissimus



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶん  
分 布 かごしま れつとういなん おきなわ ちゅうごく  
鹿児島 (トカラ列島以南)、沖縄、中国  
なんぶ とうなん  
南部、東南アジア

は かたち  
葉 の 形 ひしんけい  
被針形

は ぶち  
葉 の 縁 きよし  
鋸歯

は さき  
葉 の 先

は しゅるい  
葉 の 種類

は つきかた そくせい  
葉 の 付方 束生

は きぶ  
葉 の 基部

み しゅるい しゅうごうか  
実 の 種類 集合果

はな がくいろ おうはくしよく  
花・萼色 黄白色

せいめい  
説 明 かいがん ちか あ ち しつち は たか じょうりよく しょうごうぼく ふと えだ  
海岸の近くの荒れ地や湿地などによく生え、高さ 2-6m になる常緑の小高木で、太い枝  
をまばらに出し、支柱根を出します。葉は革質で縁には鋸歯状の短いトゲがあります。実  
は集合果でパイナップルによく似ています。実は食べられますが、あまり美味しくありま  
せん。ヤシガニが食べます。